第２号 院友大分

発　行
國學院大學院友会大分県支部
発行責任者　支部長 髙司信太郎
編集責任者　事務局 紀田　兼宣
（金鷹山若宮八幡社宮司）

〒873-0004 杵築市大字宮司336番地
電 話　0978－62－3148
FAX　0978－69－7035
E-mail : info@kintakayama.com
公式 HP 金鷹山　若宮八幡社　検索

謹賀新年



年頭挨拶

國學院大學院友会　大分県支部
支部長　髙 司 信太郎
（79法・80神専攻）

初春のお慶びを申し上げます。旧年中のご支援洵に有難うございます。今年も支部活動にご協賛賜りますようお願い申し上げます。

今年は、母校國學院大學が、明治十五年に皇典講究所として開かれて創立百四十年を迎えて、大きく歩みが進められます。

國學院大學院友会は、それより五年後、初期の卒業生が集い合って、発足して今年、百三十五年の歩みを共にしてきました。

コロナ禍の今、私たちの暮らしも、社会も、大きく変わりました。院友会本部のご指導のもと、二回にわたり、支部総会が縮小され、役員総会となりました。國學院大學の発展のためには、本部と足並みを揃えた支部主管の社会貢献事業も必要であります。微力ながら、それも出来ませんでした。洵に残念なことです。

その様な状況の中、事務局が活性化され、『院友大分』編集部が発足し、創刊号、そして第二号が発行されました。院友の皆様方の互助連絡、大学の様子や支部活動の取り組み等のお役に立つこととなりました。

紙面については、國學院大學が令和四年四月に観光まちづくり学部を新設することになり、大学が大きく発展していくことになります。この学部の紹介とこれからの展開を各号で追って記事にしていこうと考えております。國學院大學だから出来る『観光まちづくり学部』、文学歴史学、神道学、民俗学等の日本文化の研究実績があり、日本各地の神社で神職として地域に深く関わっている多くの院友、創立百四十年の歴史をもって、地方地域に根ざした社会貢献の実績のある多くの院友の支援を受け、研究調査、人材育成教育が始まるのではないかと楽しみにしているところです。

今年は、コロナ禍の終息を願い、九月には、院友の笑顔と元気な校歌の声が聞かれる支部総会と会食を期待しております。

さらに、企画を練って、広く多くの方にご覧戴く、支部主管講演会を院友の皆様のご協力を賜り、開催したいと思っております。

さらには、文系・理系の幅広い学問領域から学んで、左図に示すように演習やグループワークで実践力を養成し、多彩な専門領域を持つ教員陣も揃っています。

大分県は、歴史・文化、自然環境、観光・交流資源が豊富な地域です。そうした地域で感性豊かに育った学生を迎えて、やがて地域で活躍できる人材として還元できることを目指しています。フィールドワークとして、みなさまの地域でも滞在し学ばせていただきたいと考えておりますので、伝統ある國學院大學の新しい「観光まちづくり学部」をよろしくお願いいたします。

「観光まちづくり学部」開設

國學院大學新学部設置準備室　米田誠司

本年4月に國學院大學の6番目の学部として「観光まちづくり学部」が開設します。

この「観光まちづくり」とは、地域社会の現状と課題を理解し、地域を主体とした「観光と交流」を軸にしながら、活力あふれる地域の実現を目指す活動のことです。

開設予定の観光まちづくり学部では、「地域を見つめ、地域を動かす」をモットーに、新たな観光学のあり方を開拓し、地域に貢献できる人材を育成します。この地域を見つめるとは、それぞれの地域が持っていながら地元の人が見過ごしている強みや魅力を外からの視点で掘り起こし、調査や検証をすることで、地域を動かすとは、その魅力を磨き上げ、地域内外の交流へつながる施策を提案し、そこに住む人たちと一緒にまちづくりを進めていくことです。

少子高齢化、人口減少の時代を迎え、地域の存続が危ぶまれる近年の日本では、いかにして地域を維持し、次世代へと引き継いでいけるかが喫緊の課題です。このような課題を解決するため、観光や交流に関する計画を立案し、政策提言を行い、地域経済の活性化へと導く施策を提案できる企画力を持った人材がいま求められています。本学部では、学生一人ひとりが、地域に深いまなざしを向け、地域の魅力を再発見し、地域経済の活性化へとつなげていく「観光まちづくり」の手法と考え方を学びます。

「観光まちづくり学部」専門教育の流れ



一般財団法人國學院大學院友会　総務部長　中里陽一（90文2）

大分県支部の皆さま、こんにちは。院友会の活動また学生支援、母校へのお力添えと、皆さまには常々ご尽力をたまわり、感謝申し上げます。

先行きの見えないコロナ禍において、本部も行事・計画等変更自粛を余儀なくされております。院友大会、支部長会議、新年院友交歓会、本部開催の一般公開講演会は開催を自粛しました。院友会報は本年度の新年号に限り、会費・寄付金納入者のみへの送付とさせていただきました。

事業収益は、令和元年度上半期決算額 千六百三十三万四千二百九十一円、令和二年度九十七万六千八百五十円、今年度は九月三〇日現在で二百四十六万千五百十円です。また、国や東京都の助成金に申請して支給を受けております。

各支部も、地域の実情で殆どの支部が総会・懇親会を自粛しております。改めて、肩を組み大きな声で校歌を歌い、後輩たちの活躍に一喜一憂する。思い出を語り合う。こうしたことが、どんなに得がたく、大切だったか、思いを馳せる次第です。

一時期の人影のないキャンパスから、師走を迎えた現在は授業も少しずつ対面が戻り、賑やかさを増しています。わいわいがやがやと語り合う様子は、漸く手にした学生生活なのだろうと、こちらもうれしくなってきます。

コロナ禍、この状況の中で、学生たちは大いに活躍してくれました。硬式野球部、陸上競技部、柔道部等多くの部会、法人傘下各校の選手たち。学業の面でも、現役で公認会計士合格者も出ました。後輩たちに、背中を押されている感がいたします。

皆さまもどうぞ大学や本会のホームページ、ツイッターをご覧ください。「いいね！」情報が沢山あります。

令和四年度は、コロナ前には戻ることは難しいと思いますが、支部の皆さまとしっかりと手を携え、母校や後輩たちを支援してまいります。

これからの同窓会のありかたに、皆さまのお知恵をお借りしたいと思っております。

※令和四年度東都大学野球春季リーグ戦（1部）開幕戦を四月二日(土)、三日(日)に、大分県「別大興産スタジアム」で実施が決定。母校硬式野球部への応援・ご支援をよろしくお願いいたします。



國學院大學神殿　（提供：國學院大學広報課）



渋谷キャンパスの様子（提供：國學院大學広報課）

院友大分　会員からの寄稿

神道文化学部一二二期生
宇佐神宮権祢宜
山本　宗龍

宇佐神宮では、毎年七月三十一日より八月二日にかけて、御神幸祭（夏越祭）が斎行されます。

この祭典の歴史は古く、『八幡宇佐宮御託宣集』には、平安時代より以前に始まったことが記されています。

人々の疫病を除き災厄を防ぐと共に、国家国民の安寧を祈願する神事として、江戸時代には「御祓会」とも呼ばれていました。

この御神幸祭において、現在八月一日では『弓馬術礼法小笠原流』の御奉仕による「流鏑馬神事」が斎行されています。

流鏑馬の名が最も古く見えるのは、今から約九百年前の藤原明衡の『新猿楽記』です。当時の流鏑馬は公家の催し物として、鎌倉に幕府が開かれてからは、武家の儀式として盛んに行われます。

この流鏑馬も一時衰微しましたが、徳川時代に入り小笠原流二十代貞政は、享保九年古儀の他に新しい流鏑馬を、小笠原家に伝わる書類を参照して制定しました。

流鏑馬は、武家の厳格な儀式であり、作法も道具も細部まで規定され、小笠原家によって正確に伝えられてきました。

射手（いて）は〝あげ装束〟と云われる、儀礼化された鎌倉武士の狩装束を身に纏い出馬の準備を整えます。

諸役が配置につき的がかけられると、馬場の両端で合図がかわされます。当神宮では、表参道より大尾神社並びに護皇神社へ真っ直ぐ伸びた大尾参道を馬場とします。射手は馬を馬場末から馬場元に向けて馳せつつ矢をつがえ放ちます。

令和元年の天皇陛下御即位奉祝を記念し斎行されて以降、三回目を終えました。宇佐神宮を代表する伝統行事となるよう、今後も絶やさず続けて参りたく存じます。







八幡総本宮
宇佐神宮
872-0102
大分県宇佐市南宇佐 2859
TEL;0978-37-0001



世界農業遺産の里
国東半島

萱島酒造有限会社
代表取締役社長
萱島　進

萱島酒造有限会社
顧　問
萱島 祥彦
（８６期・法）

西の関 日本酒
Nishinoseki

塗料は花です 色で町を明るくしましょう

日本一の
おんせん県おおいた
味力（みりょく）も満載

塗り替えのご相談・施工お任せ下さい
有限会社 **安部塗料店**

代表取締役 **佐藤 紘一郎**（経71）

〒870-0925 大分市大字下郡字尾西1652-4
TEL097-569-6331　FAX097-569-6394
E-mail abe-toryoten@snow.ocn.ne.jp

宝石と時計の店
RAFFINE 三井

三井 俊夫（文82）　大分／ガレリア竹町ドーム広場 TEL097-532-4964　竹町Pご利用ください。

ONIX
有限会社 明豊マイカーセンター
オニキス大分地区正規加盟店
大分メンバーショップ

有限会社 DAIHATSU ダイハツピット店
明豊マイカーセンター
オニキス大分地区正規加盟店
大分メンバーショップ
大分県大分市東津留2-9-22（花津留バス停前）
■営業時間：AM10：00～PM7：00　■定休日：火曜日
0120-81-3322



別府総鎮守　別府温泉の守護神

八幡朝見神社

874-0812
大分県別府市朝見２丁目15番19号
TEL 0977-23-1408

ブティック サンポルテ　　株式会社 エイエフビイ

實 﨑 佑 一（文史 73）

〒870-0105
大分市西鶴崎１丁目 9-5 松生ビル 1F
TEL 097-522-2333　FAX 097-522-2333

〒870-0003
大分市生石４丁目１番 20 号 大鉱ビル 3F
TEL 097-535-0678　FAX 097-534-2386
E-mail afb@giga.ocn.ne.jp

矢 野 大 和
（経 88）

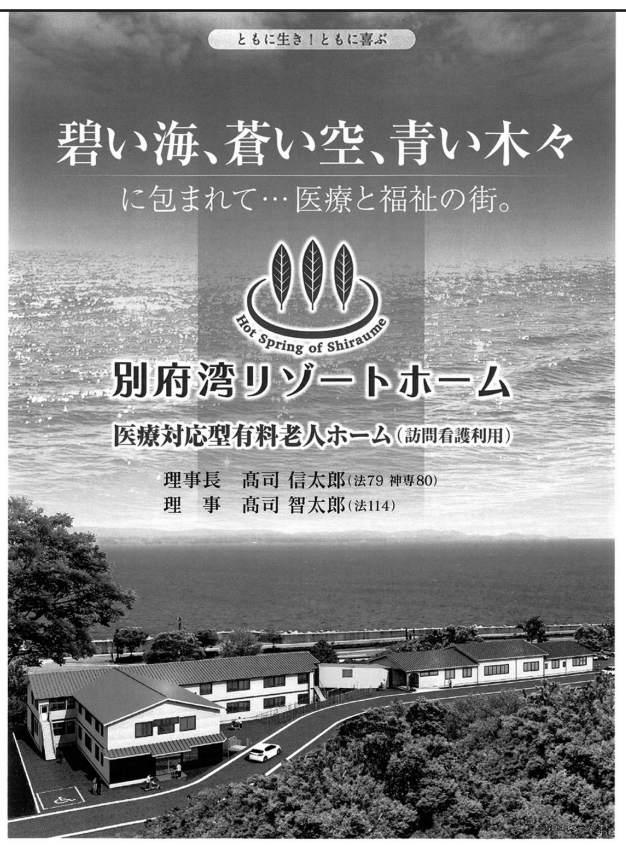
矢野大和事務所

・講演の仕事をしています
・笑い噺をしています

御用があったら遠慮なく
TEL 0972(54)3402

〒879-3302
佐伯市宇目大字南田原616-1番地





一般社団法人 青山医療福祉協会
別府湾リゾートホーム　〒874-0818 別府市浜脇山家 12組
tel.080-1537-4907（担当者）
ホーム tel.0977-27-1222　デイサービス tel.0977-27-1333　fax.0977-27-1334（共通）



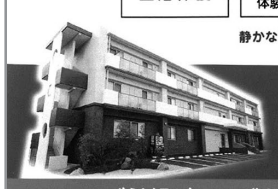
【無縁社会をなくす運動】推進
私たちの理念は〝家族〟になること！

理事長　高司 信太郎（法79 神専80）
園　長　高司 信一郎（法109 神専110）

医療　＊主治医はそのままでも構いません。提携医院／原嶋内科医院（往診あり）
在宅酸素　透析　認知症　胃ろう　インシュリン　ほか

受入可能な方　＊原則、要介護の方の施設です。
生活保護
短期利用 体験入居（3,000円／日）

静かな住宅地の中にあります。



特定非営利活動法人　青山白梅会
住宅型有料老人ホーム **白梅の花**
〒874-0901 別府市中島町11番25号 Tel 0977-24-2000

受付はいつでもOK!
お気軽に! お役に立ちます。
080-1537-4907
（担当／施設長）

ご希望があれば老人ホーム葬（軽費）いたします。＊火葬・霊柩車などの諸経費実費は別途必要になります。